



令和3年度 であいの森 高年利用者アンケート結果

草加市



アンケート調査

◆**対象者** ※過去5年間に登録、または再申請した利用者を抽出

2, 151件

◆**調査期間**

令和3年（2021年）7月14日～8月13日

◆**調査方法**

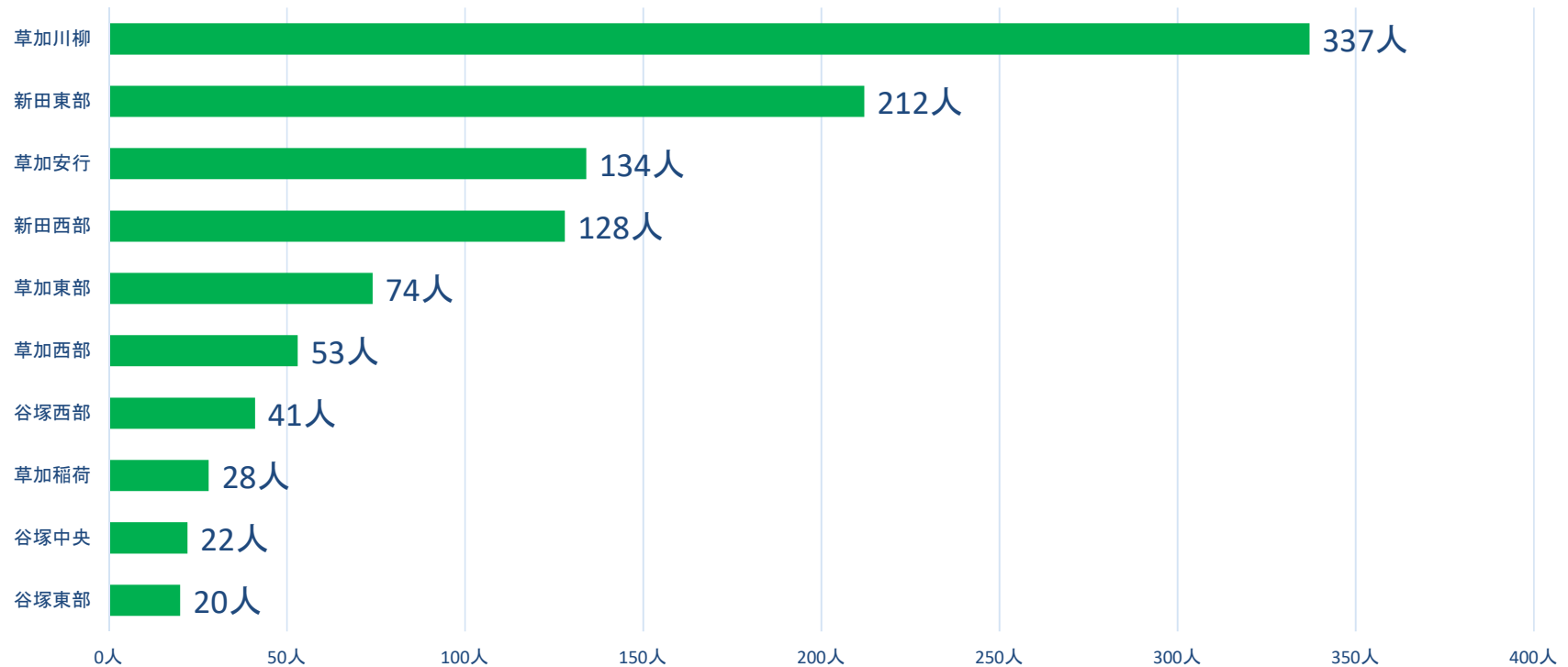
郵送によるアンケート調査

◆**回答数**

1, 099件（回答率 51, 1%）



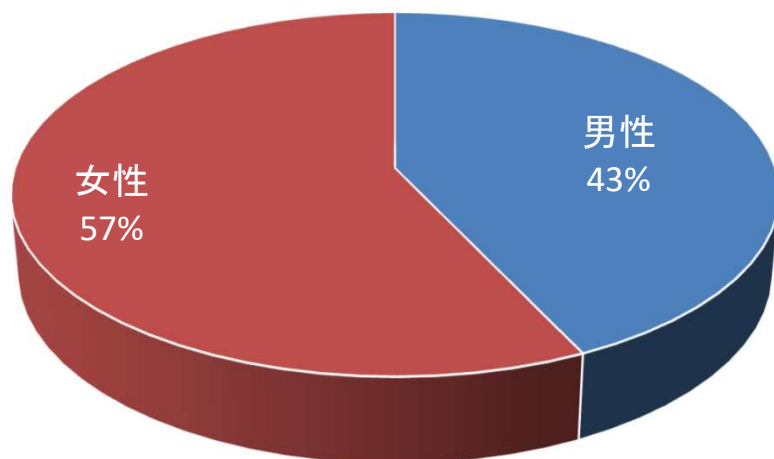
問1 圏域別回答者数



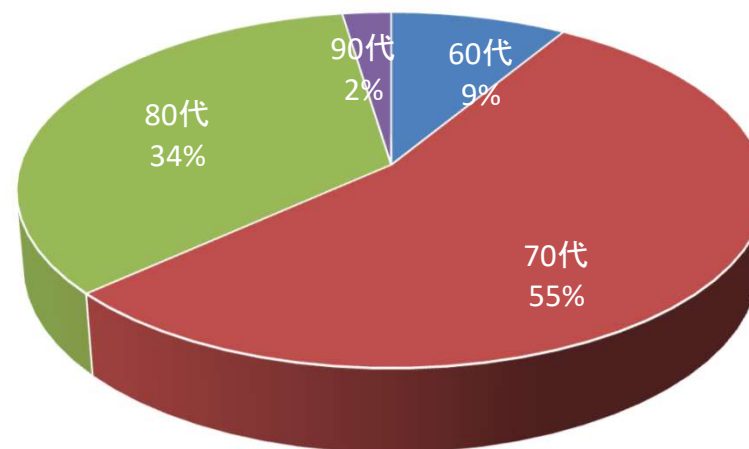
- ・近隣の草加川柳圏域が337人と最も多く、次いで、新田東部圏域が212人、草加安行圏域が134人となっています。一方、谷塚圏域からも、遠方ながらそれなりの数の回答が来ています。
- ・であいの森は、草加全域に広くあまねく利用されています。

問2 男女別および年齢別構成比

問2 男女別

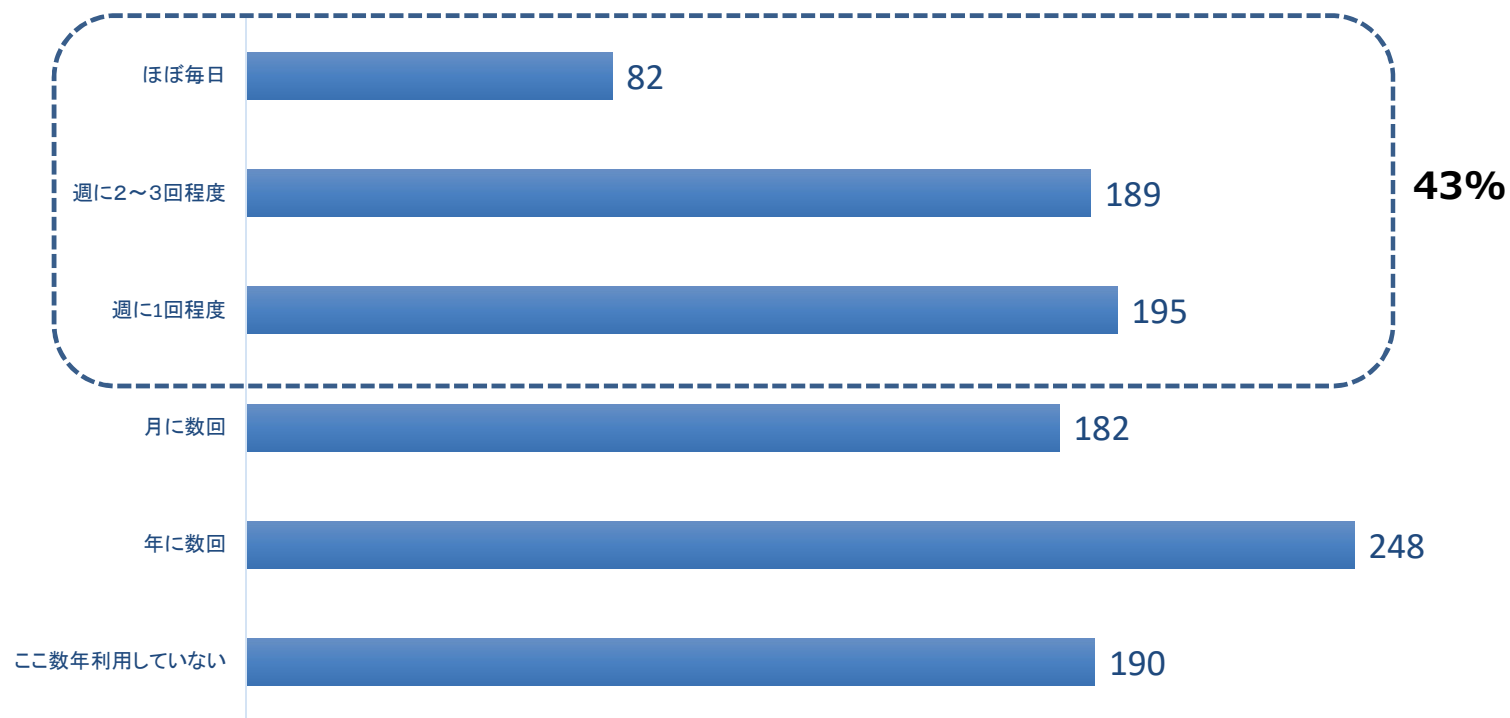


問2 年齢別



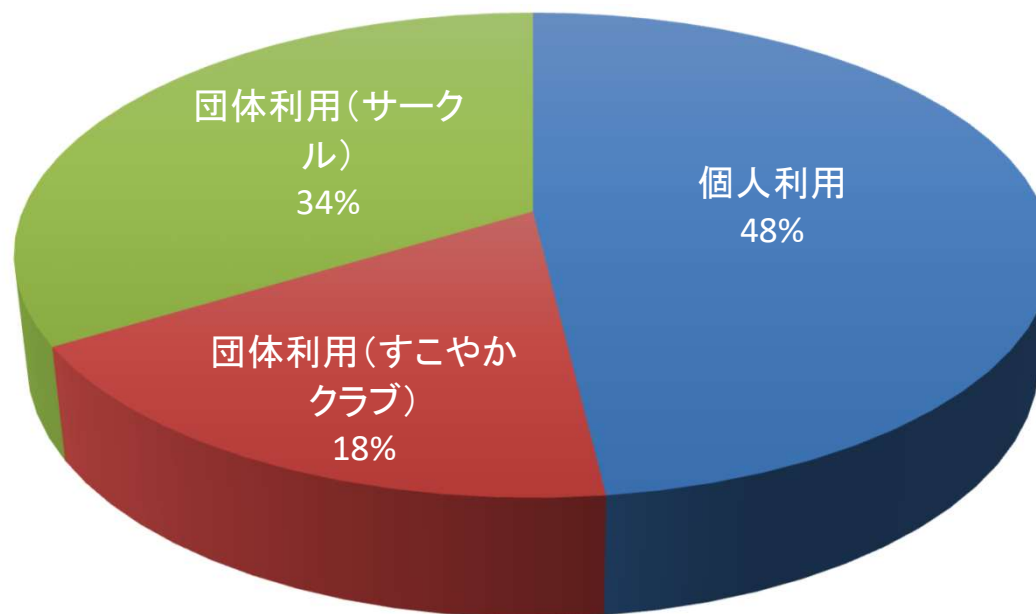
- 男女別では、女性が57%、男性が43%となっています。
- また、年齢別では、70歳台がもっとも多く55%、ついで80歳台が34%、60歳台が9%となっています。

問3 施設利用頻度



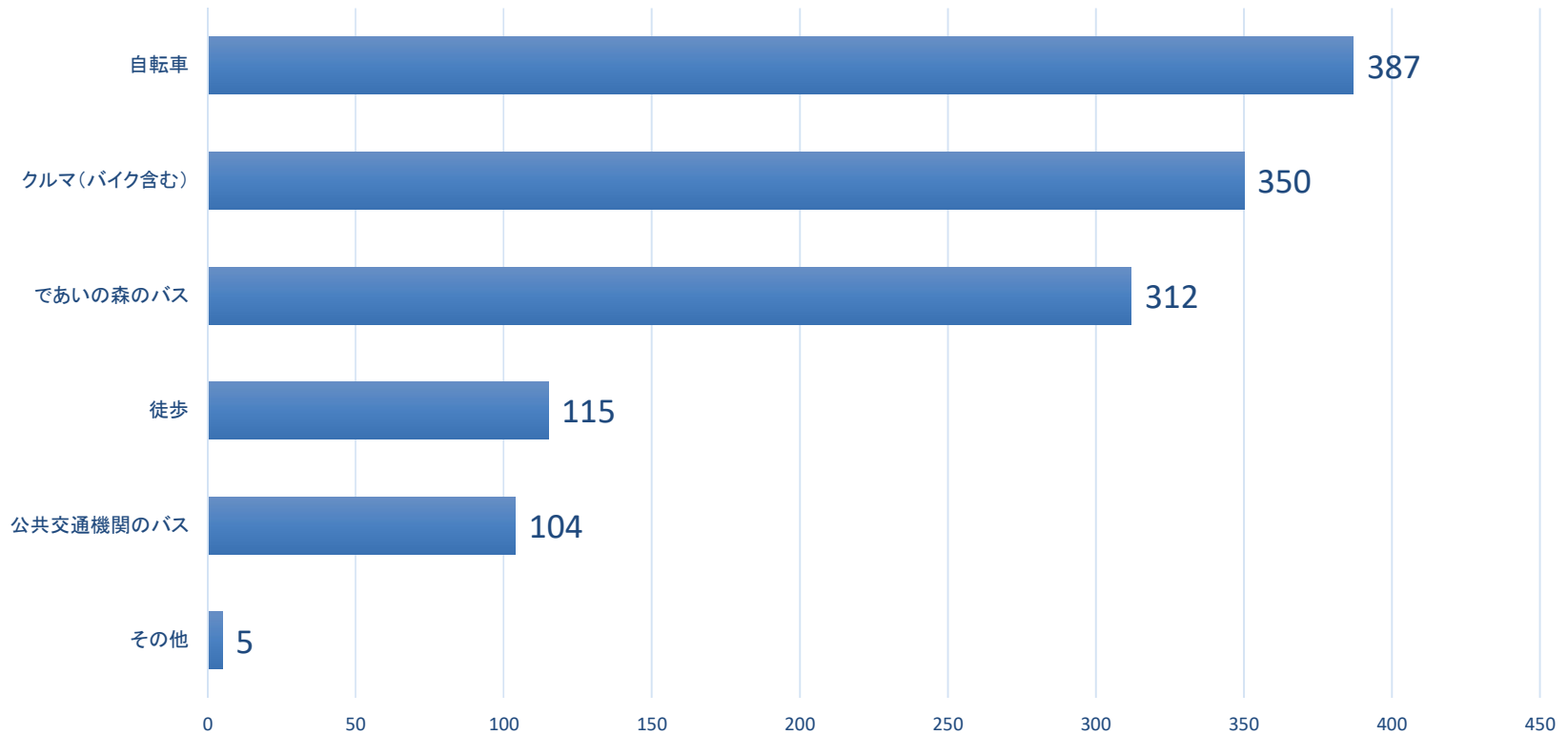
- ・利用頻度は、年に数回が最も多く248人、ついで、ここ数年利用していないが190人となっています。
- ・一方、週に1回以上の利用者は、466人で、43%となっています。

問4 主な利用方法



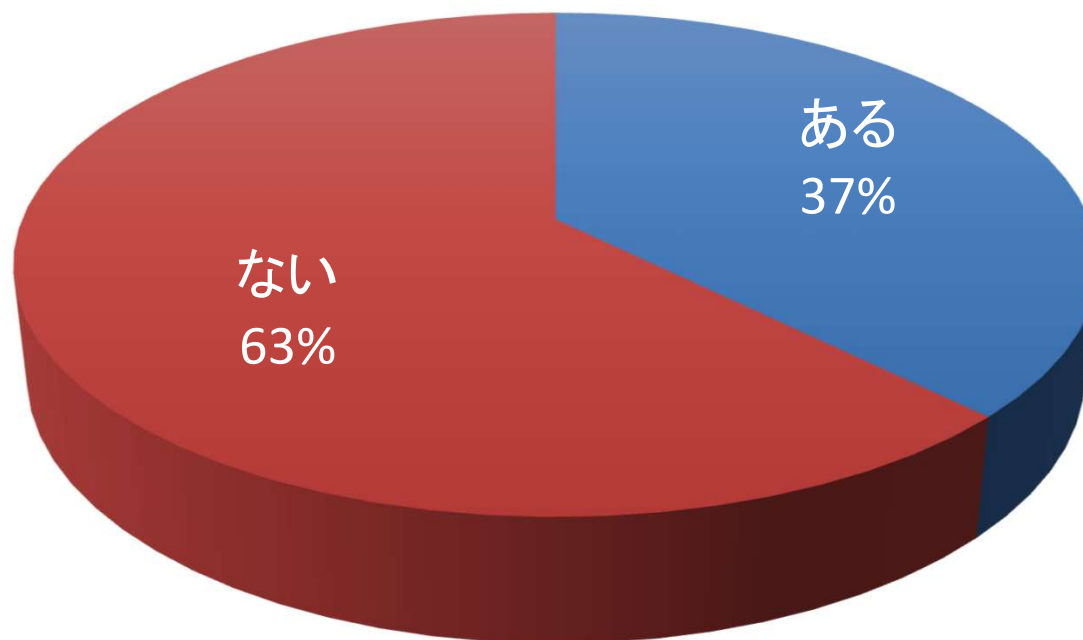
・主な利用方法は、個人利用が48%と最も多く、ついでサークル等の団体利用が34%、すこやかクラブの利用が18%となっています。

問5 主な交通手段



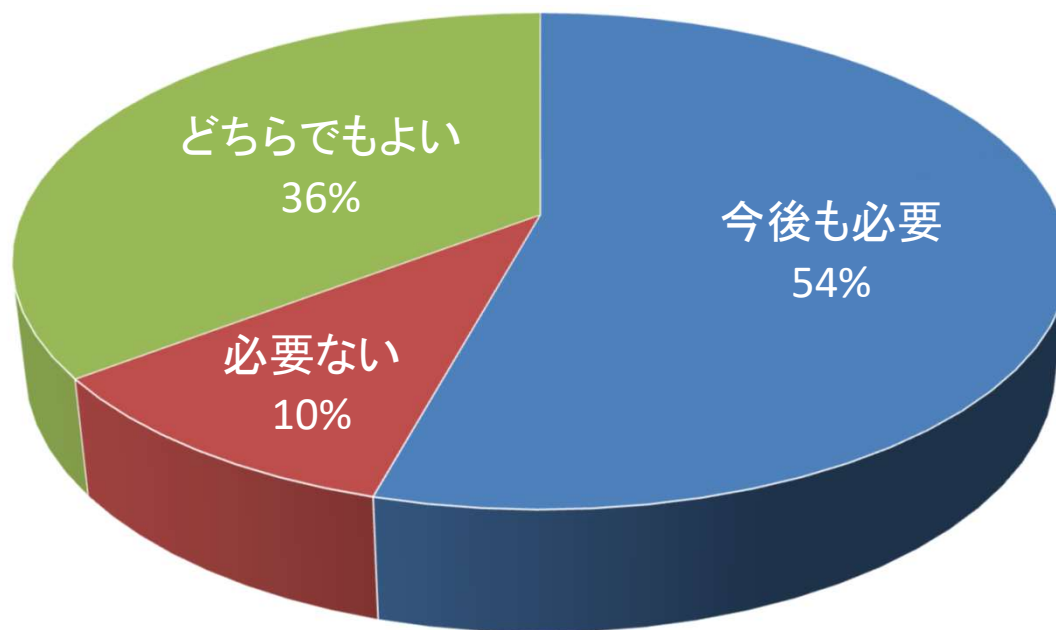
- 主な交通手段は、自転車が最も多く387人、ついでクルマが350人となっています。
- であいの森のバスを主な交通手段としている方は312人で、全体の4分の1となっています。

問6 であいの森のバス 利用の有無



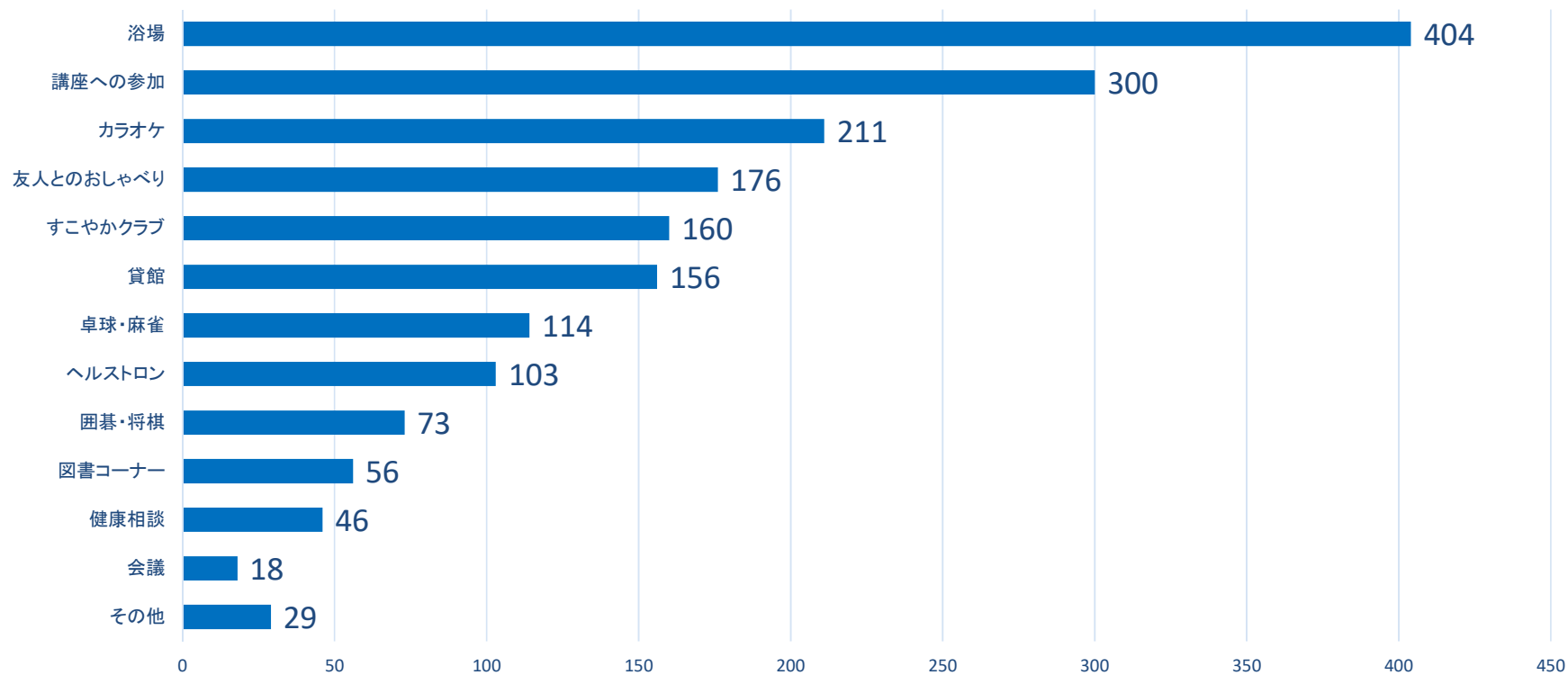
・であいの森のバスについて、利用したことがないが63%となっており、3分の2弱が利用したことはありません。

問7 であいの森のバスの必要性



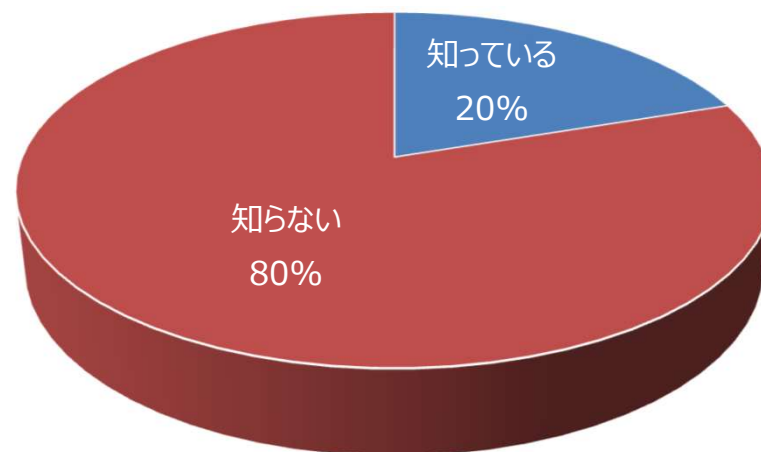
- であいの森のバスの必要性については、今後も必要が54%、必要ないが10%、どちらでもよいが36%となっています。
- 半数以上が、であいの森のバスを必要と思っています。

問8 利用目的(複数回答)



・であいの森の利用目的については、浴場が404件と最も多く、ついで、講座への参加は300件、カラオケが211件となっております。

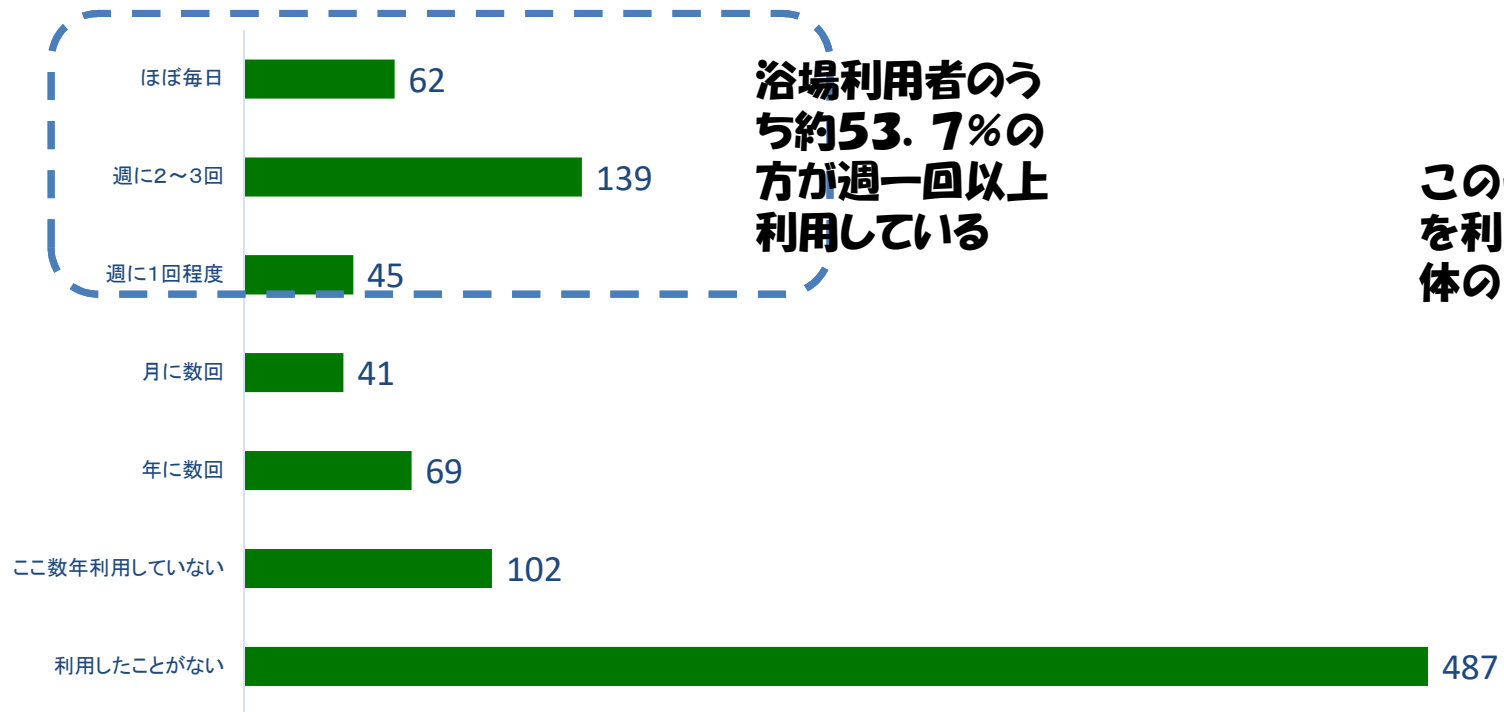
問9 『すまいる広場』の認知度



・『すまいる広場』を知っている方は2割にとどまっています。

※なお、問10では41件、貴重なご意見をいただきました。今後の活動に生かして参ります。

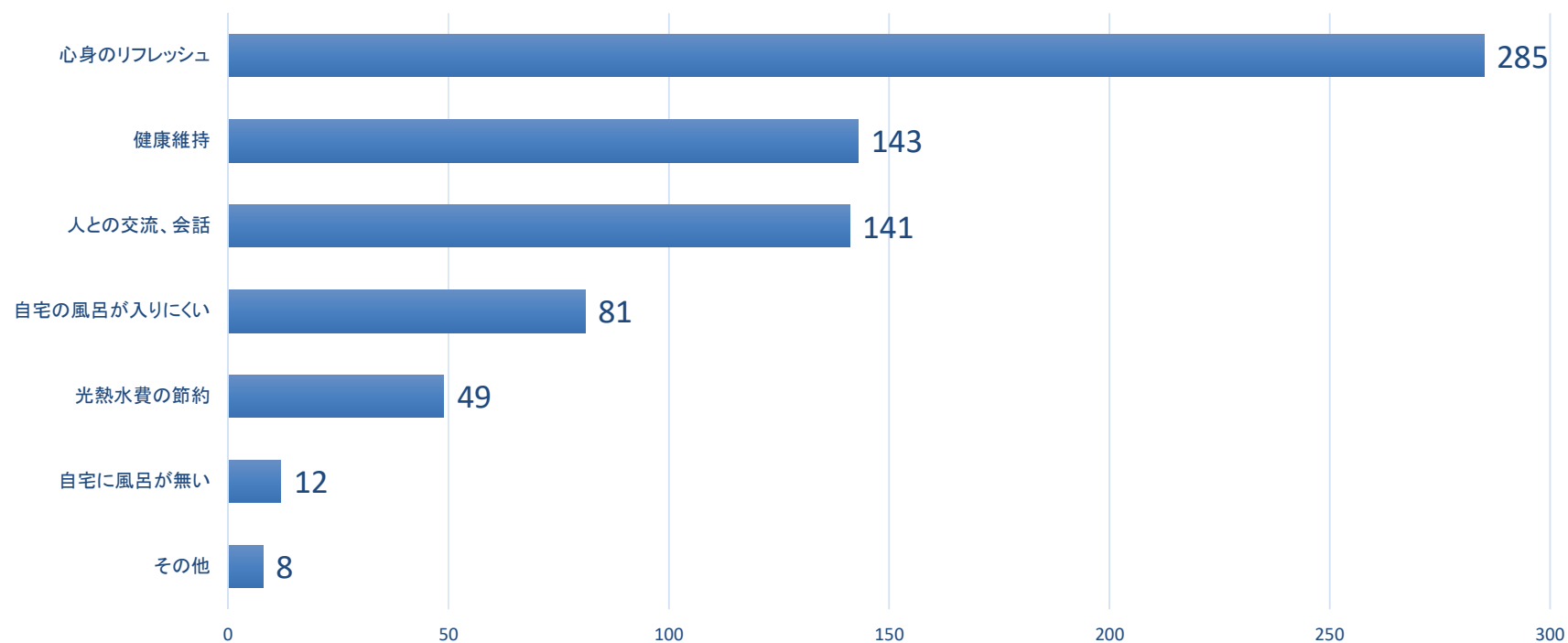
問11 浴場の利用頻度



この一年間に浴場を利用した方は全体の**37.7%**

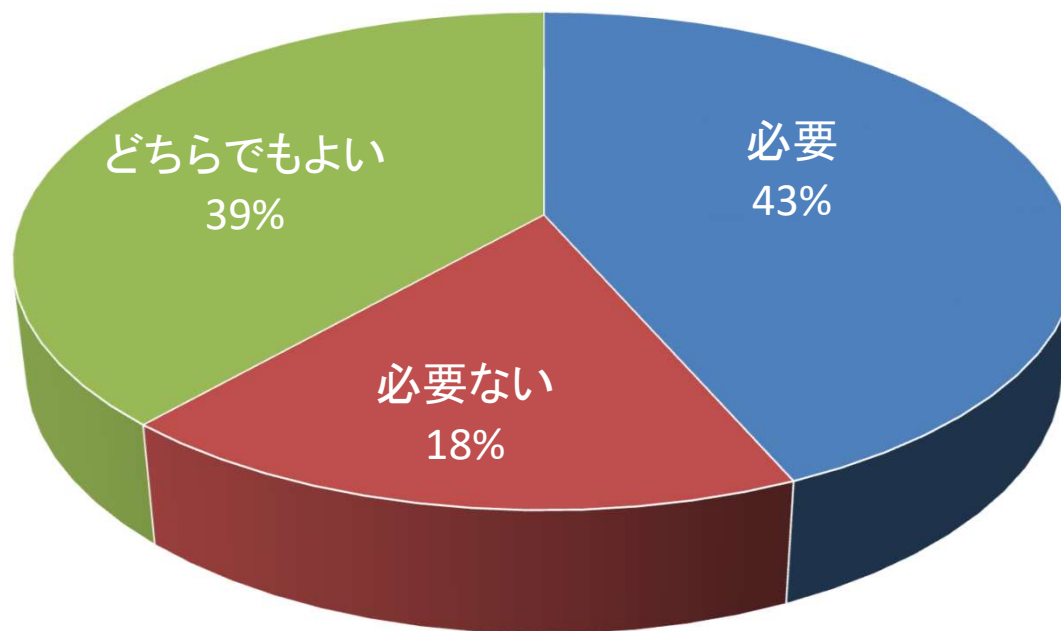
- ・浴場の利用頻度については、ここ一年間の間に浴場を利用した方は、356人で全体の37.7%となっており、そのうち、ほぼ毎日が62人、週に2~3回が139人、週に1回程度が45人になっています。
- ・週1回以上利用している人は246人となっており、浴場利用者の53.7%を占めています。

問12 浴場の利用目的(複数回答)



- ・浴場の利用目的については、心身のリフレッシュが最も多く285件、ついで、健康の維持、ひとの交流・会話となっています。
- ・その他の意見では、故障・修理の理由により自宅の風呂が使えないため、が6件ありました。

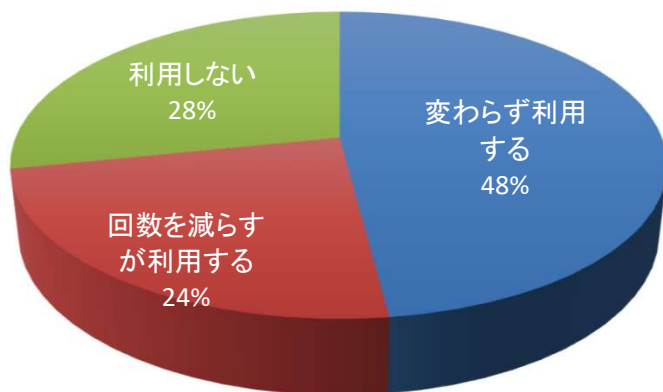
問13 浴場修繕の必要性



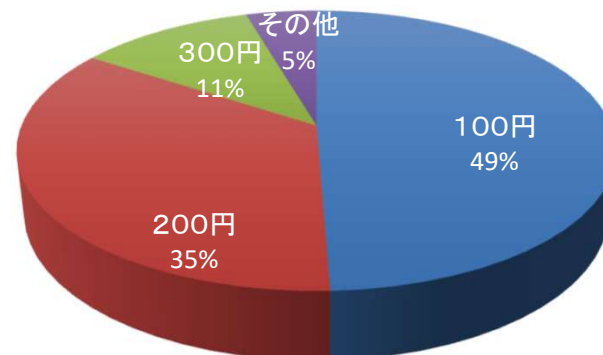
・浴場の必要性については、今後も必要が43%、必要ないが18%、となっています。

問14 浴場の有料制になった場合の利用と適正だと思う利用料

問14 有料制への意見



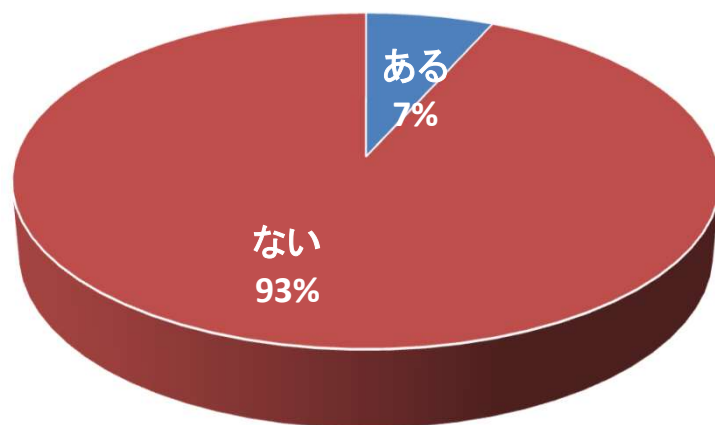
問14 適正だと思う利用料金



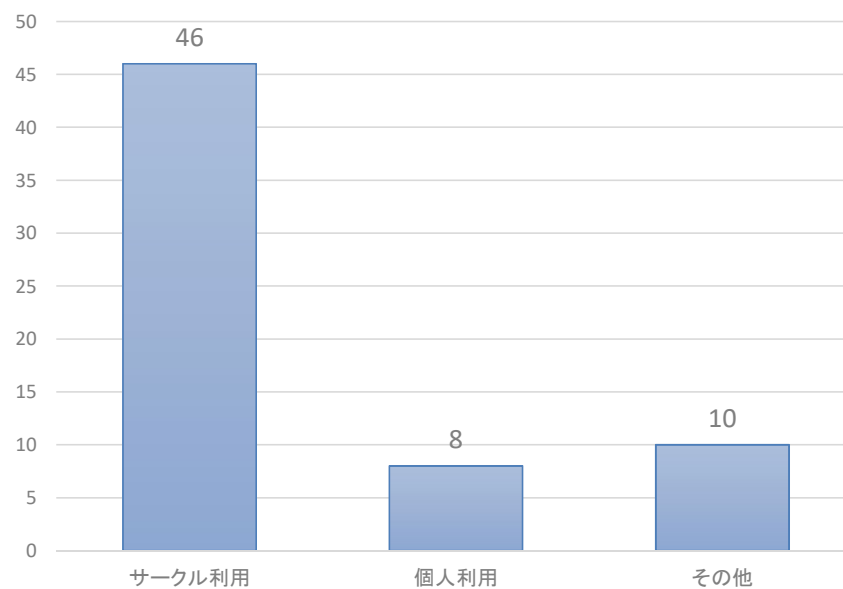
- ・浴場が有料制になった場合、変わらず利用が48%、回数を減らして利用が24%、と、4分の3弱が有料制になっても利用すると回答しています。
- ・また、適正だと思う利用料金は、100円が最も多く49%、ついで、200円が35%となっており、100円から200円と答えた方が84%を占めています。

問15・16 工房棟の利用・利用内容

問15 工房棟の利用

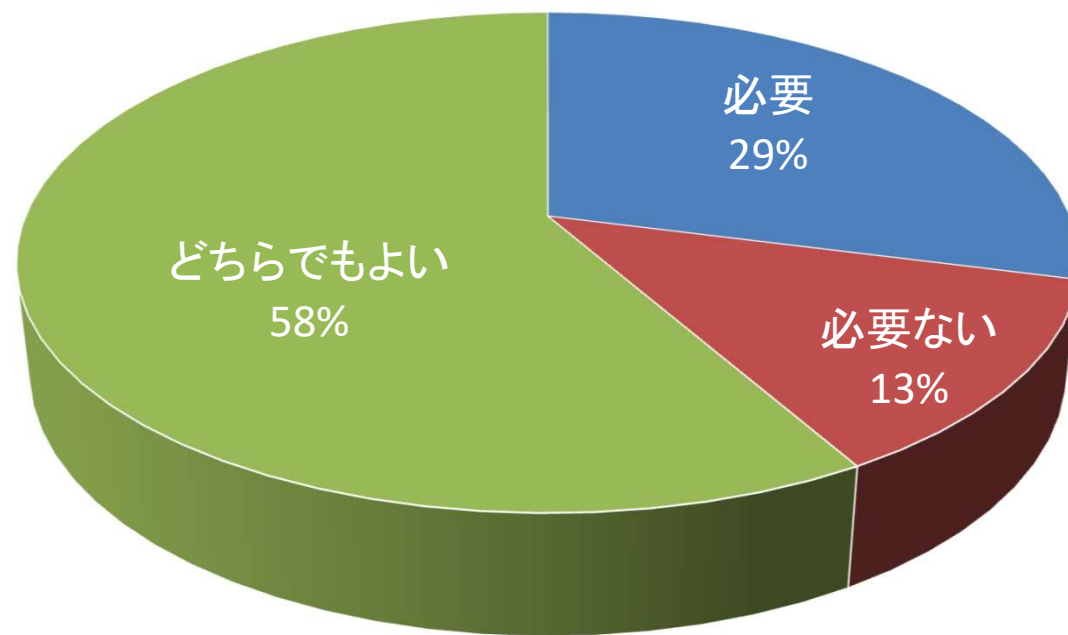


問16 利用内容(利用者のみ)



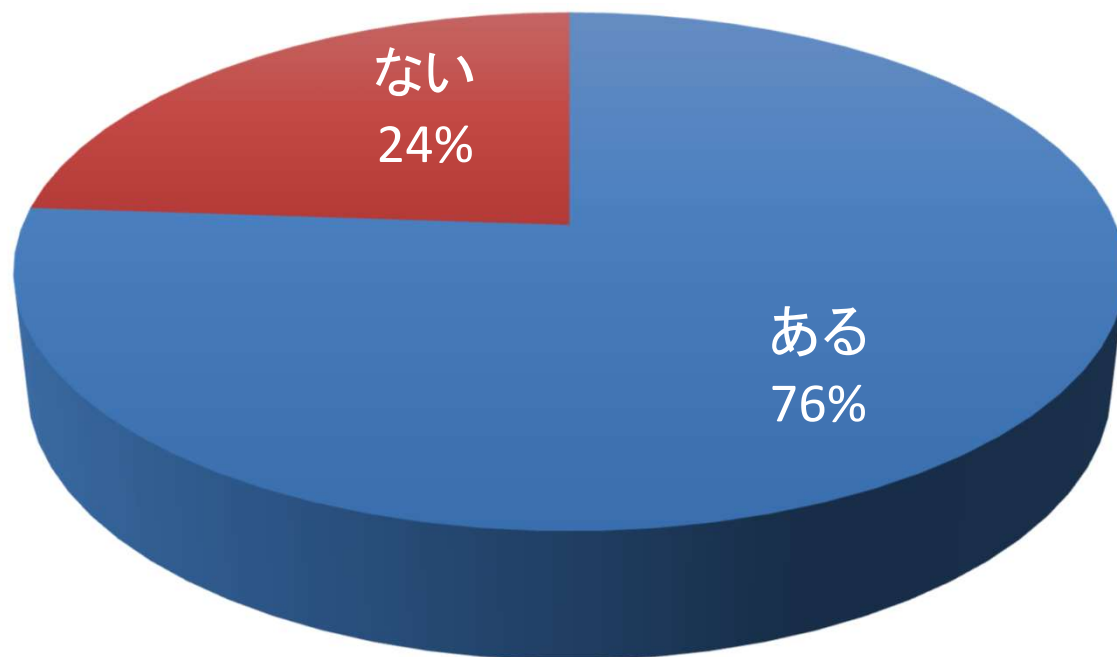
- 工房棟は93%が利用していないと回答しています。
- また、利用者の利用内容は、サークル活動が46人と7割強を占めています。

問17 工房棟の必要性



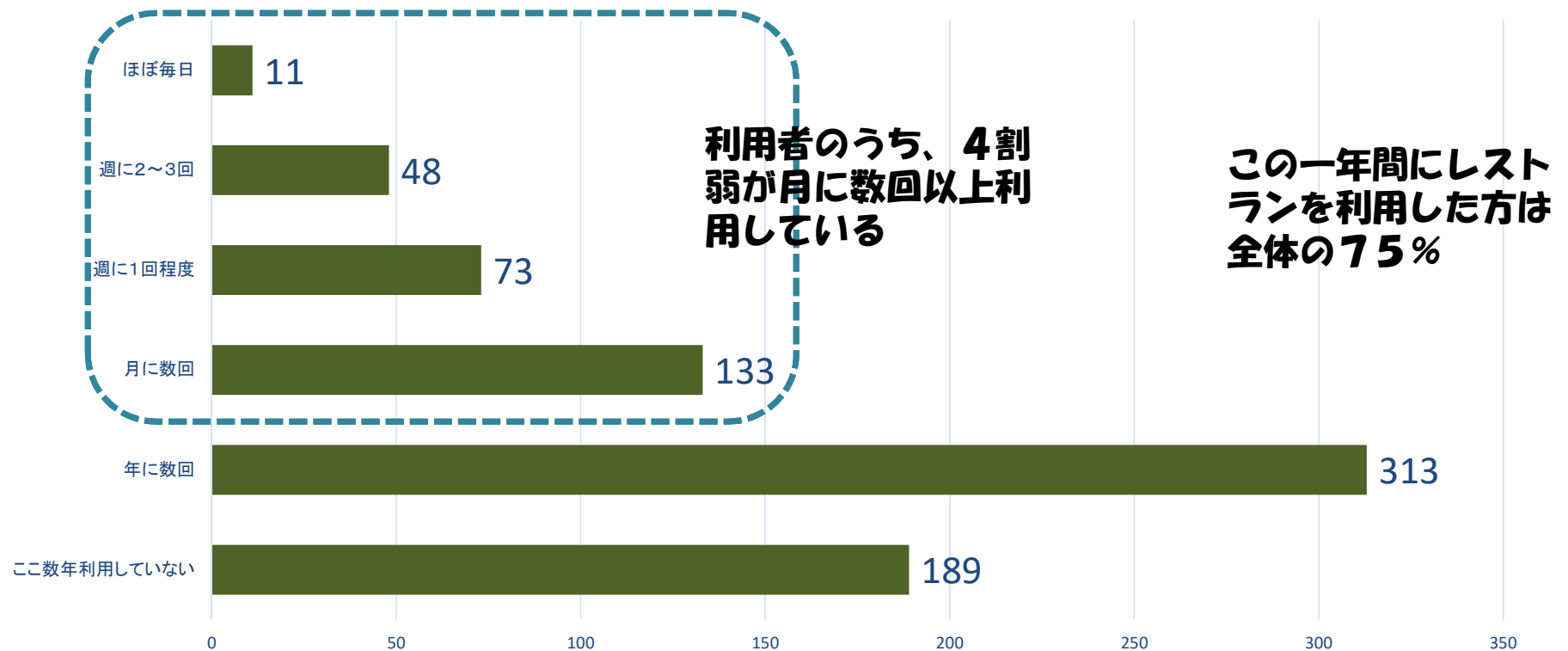
・工房棟の必要性については、今後も必要が29%、必要ないが13%、どちらでもよいが58%となっています。

問18 レストランの利用



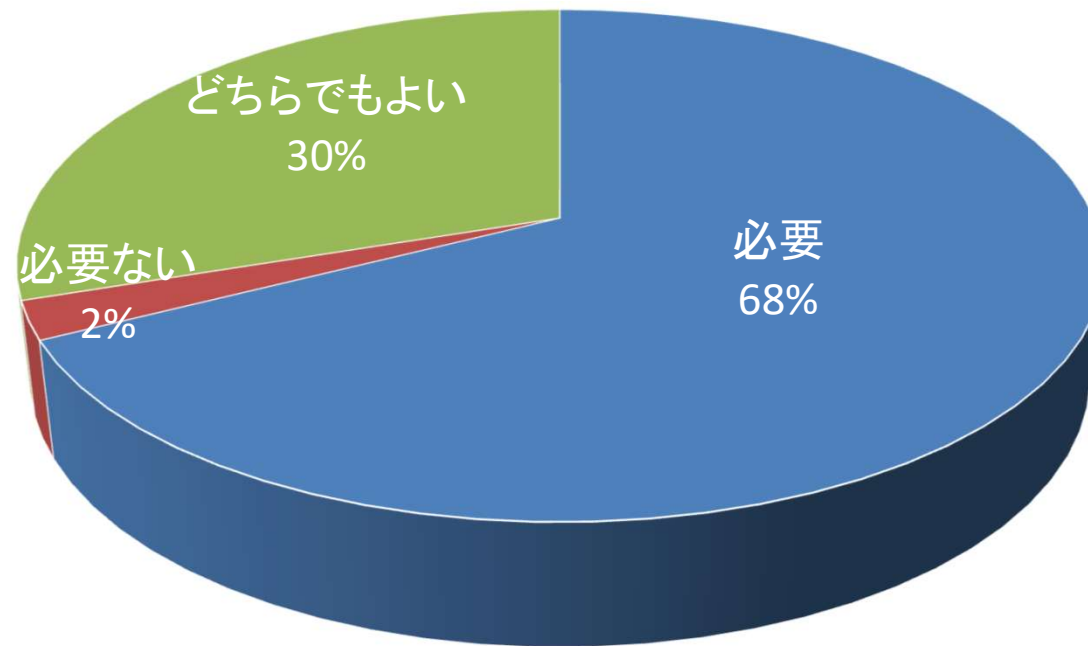
・レストランの利用は、あるが76%と、4分の3の方が利用されています。

問19 レストランの利用頻度



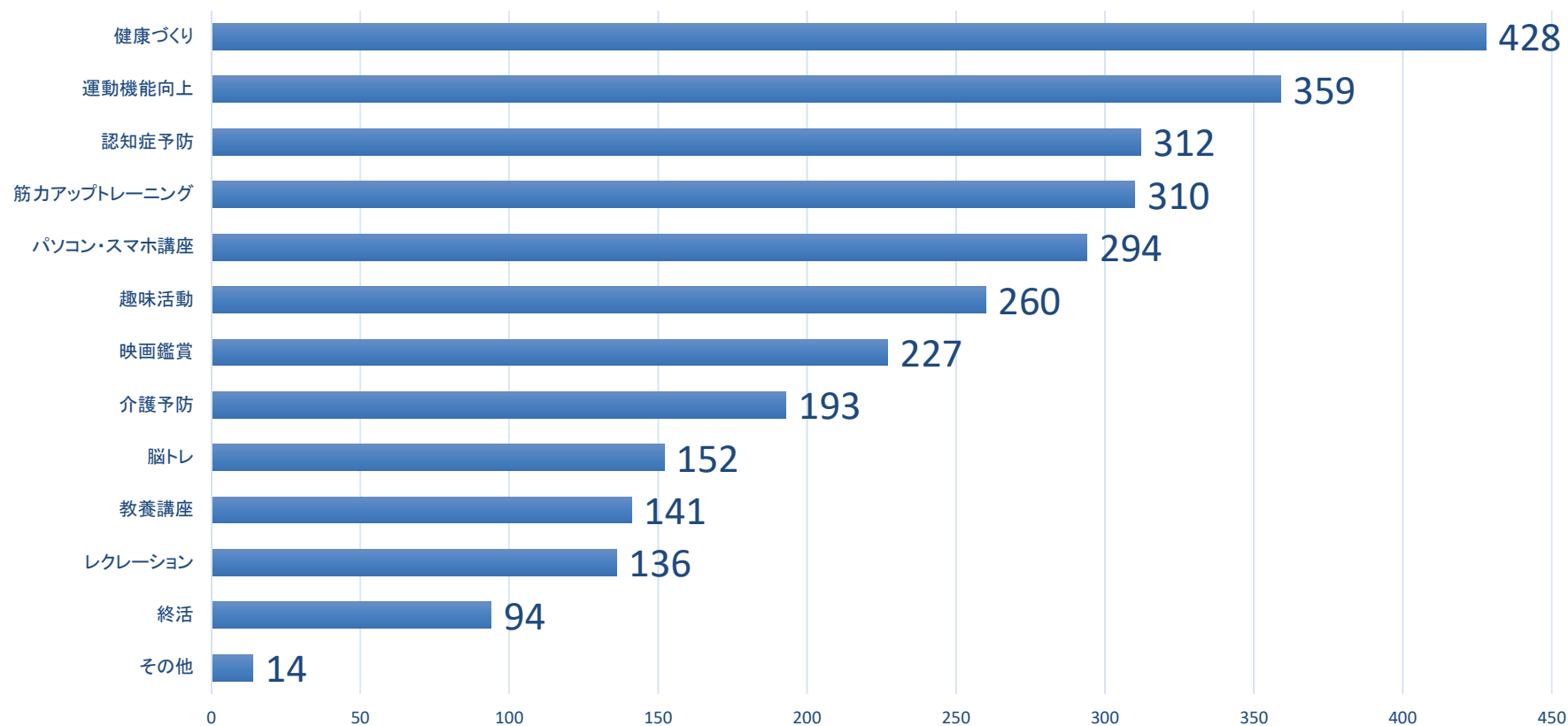
- レストランの利用頻度については、ここ一年の間にレストランを利用した方が578名で、全体の75%を占めます。
- また、月に数回以上利用している方は265名となっており、レストラン利用者の4割弱を占めています。

問20 レストランの必要性



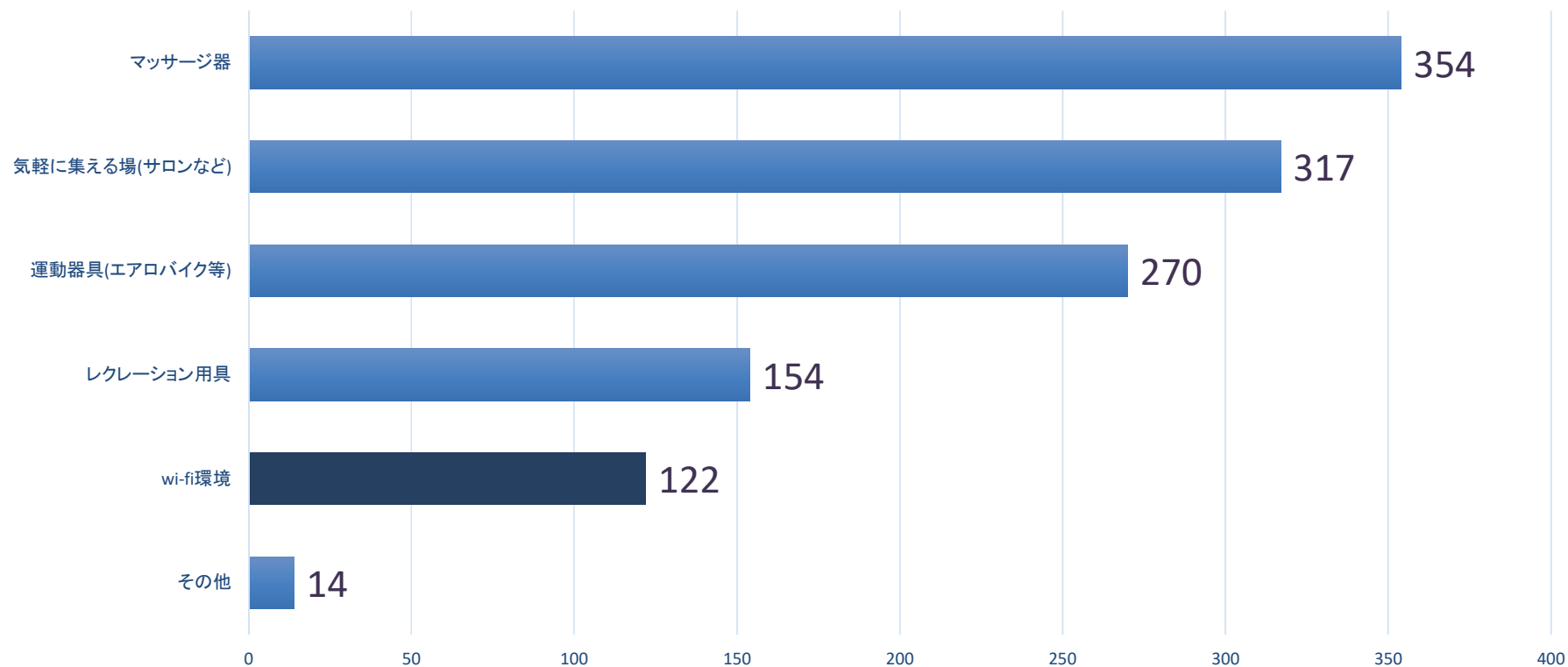
・レストランの必要性については、今後も必要が68%を占めています。

問21 今後取り組んでほしい事業



・今後取り組んで欲しい事業は、健康づくりが428件と最も多く、ついで運動機能向上が359件、認知症予防が312件になっており、健康づくりや介護予防の事業を求める声が多いことがわかります。

問22 設置してもらいたい設備・備品



- ・施設に設置してもらいたい設備・備品については、マッサージ器が最も多く、ついで、気軽に集える場（サロン）や運動器具（エアロバイク）となっています。
- ・WiFi環境に122件と10%の要望があり、IT設備への関心の高まりがうかがえます。



まとめ

- ・近隣の草加川柳圏域からの回答が32.1%と多い一方、遠方ながら谷塚圏域からも、それなりの回答があった。草加全体にあまねく広い利用分布がみられる。
- ・利用方法は個人利用が多く、利用頻度については、約4割強が週1回以上利用している。
- ・であいの森のバスを交通手段として利用する方は25%にとどまる。
- ・であいの森のバスを利用したことがない方は6割強存在する。一方、5割強がバスは今後も必要と答えている。
- ・『すまいる広場』を知っている方は2割にとどまる。
- ・施設利用目的のうち、浴場利用は22%と一番多い。
- ・浴場を利用している方のうち週1回以上利用されている方は7割弱である。
- ・浴場の利用目的については、心身のリフレッシュが最も多い。
- ・浴場を今後も必要と回答した方は4割強、必要ないが2割弱である。
- ・浴場が有料制になっても利用すると答える人が7割強を占める。
- ・適切な利用料金は100円から200円との回答が85%を占める。
- ・工房棟は1割弱の利用にとどまる。その利用者の7割強はサークル活動である。
- ・工房棟を今後も必要と答えた方は3割弱、必要ないが1割強である。
- ・レストランを利用したことがある方は全体の76%。さらにその内の4割弱が月に数回以上利用している。
- ・レストランを今後も必要とする方は7割弱となっている。
- ・施設への要望は、健康づくりや介護予防にかかわる回答が多い。
- ・WIFI環境設備へ要望が1割あり、IT設備への関心の高まりがうかがえる。
- ・その他、であいの森への意見が440件あった（掲載略）。今後の施設改善に役立てて行きたい。